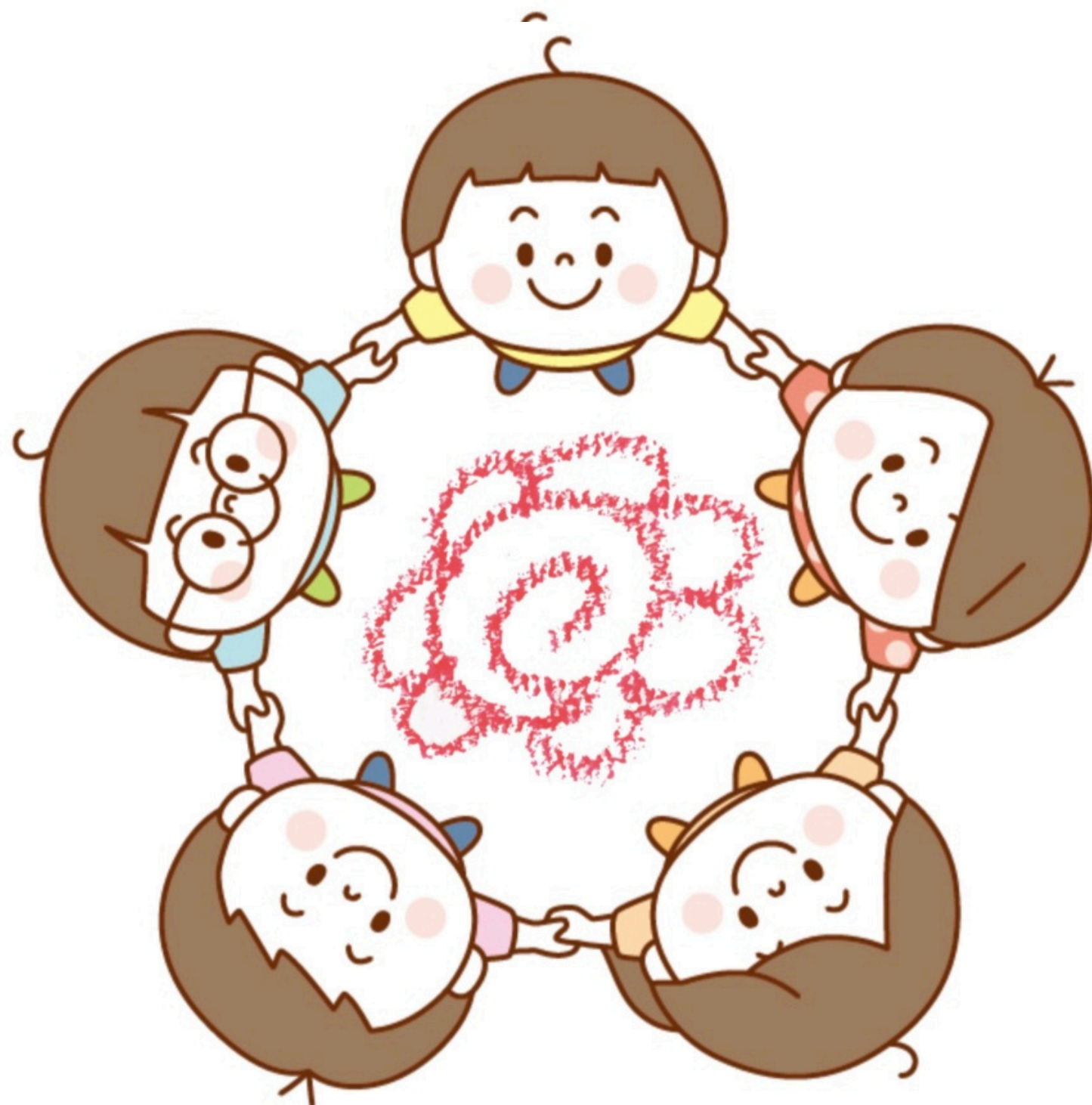




放課後等デイサービス はなまる神埼教室

放課後等デイサービスにおける
支援プログラム 公表

作成日：2025年3月25日

事業所名

放課後等デイサービスはなまる神埼教室

●所在地 〒842-0056佐賀県神埼市千代田町境原282-13

●TEL/ FAX 0952-37-3058

●代表理事 大坪法雄

●職員数 8名(保育士、児童指導員、児発管など)

●営業日 月～金曜日、祝日、第1・3・5土曜日

●休業日 日曜日、GW(5/3～5/5)、お盆(8/13～8/15)、年末年始(12/30～1/3)

●営業時間（電話対応などの受付）

放課後利用...9:30～18:30

学休日利用...8:30～17:30

●サービス提供時間（延長支援含む）

放課後利用...14:30～17:30

学休日利用...10:00～16:00

●送迎あり（片道30分程度の範囲）※送迎先の変更等は要相談



理 念

みんなちがって、みんないい

好きなこと、苦手なこと、感じ方、考え方...

人の数だけちがいがあります。自分らしくいられる場所を目指し、
一人一人に寄り添った支援を心がけています。

支援方針



自分のことを知ろう！

はなまるでの様々な活動を通して経験を重ね、好きなことや苦手なことを知り、
自己理解を深めます。

自分に合う方法を見つけよう！

お子様に合った取り組み方や、苦手なものへ向き合うためのヒント、気分転換のしかたなど、
自信や安心感、豊かな生活や自立につながる方法を一緒に見つけます。

人との関わり方を学ぼう！

放デイにいる人や地域の人との交流を通して、色々な関わり方を知るとともに、
集団行動と社会性について学ぶきっかけをつくります。

はなまるスタッフの思い

私たちははなまるスタッフは、
嬉しいことや悩んでいることなど、色々なものを
分かち合いながら、お子様やご家族と一緒に
歩いていく存在でありたいと思っています。
子どもたちの元気の源はご家族の皆さんです。
ご家族の皆さんが安心して子育てができる
環境をサポートします。



支援内容

はなまるで取り組んでいる
さまざまな内容について紹介します。

5領域に関連した活動

ビジョントレーニング

生活スキル活動

自発活動

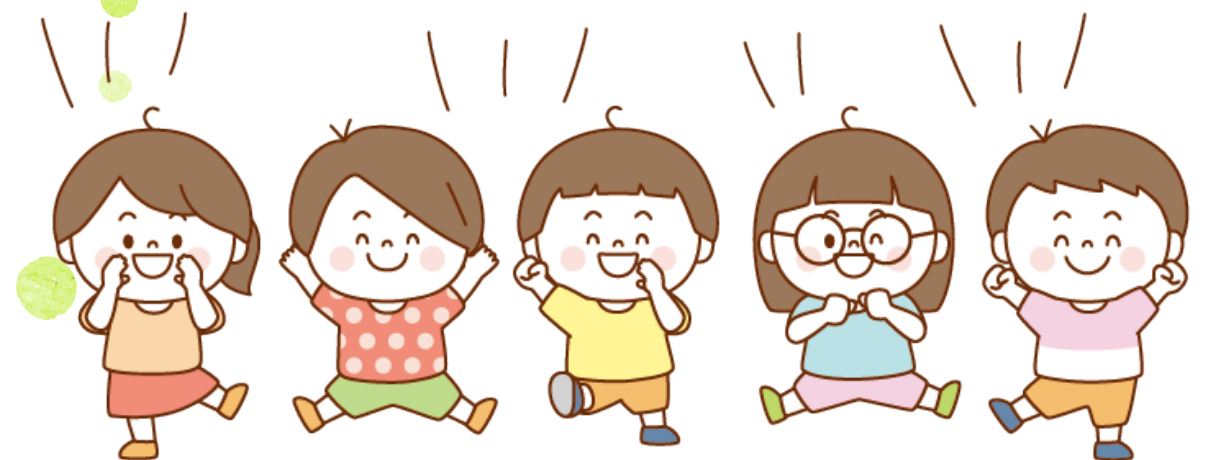
宿題等の学習支援

職員の資質向上に
資する取り組み

家族支援

地域支援・連携

移行支援



5領域に関連した活動

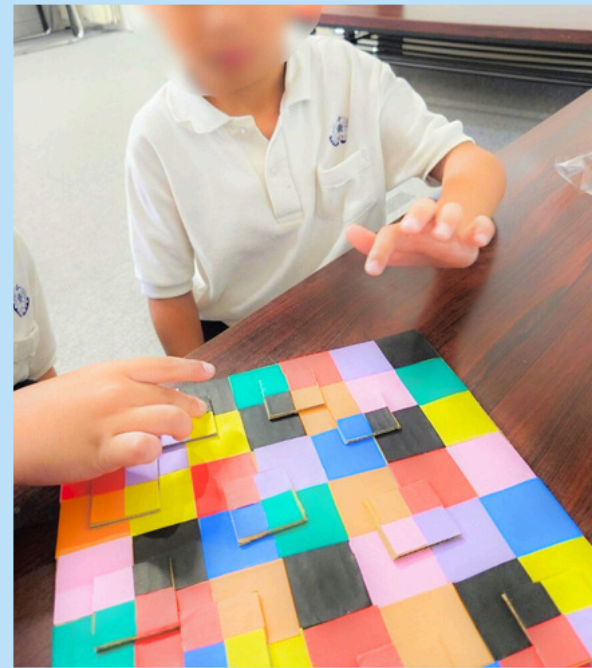
さまざまな遊びを通して学習できるように、子どもたちの総合的な成長を目指し、以下の5つの領域に焦点を当てた活動を提供しています。



健康・生活



運動・感覚



認知・行動



言語
コミュニケーション



人間関係
社会性

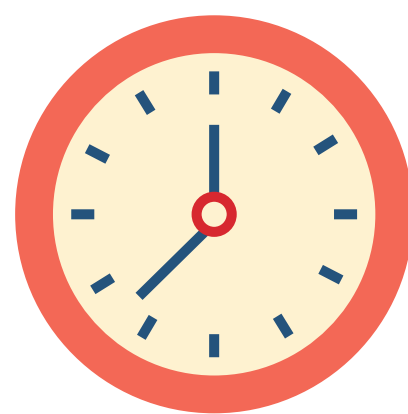
スタッフが日々の子どもたちの様子を見て、活動の提案や話し合いを行います。
計画した活動は、個別や少人数、集団で取り組めるように提供しています。
また、これらの領域の支援内容は、お互いに関連して成り立っており、重なる部分もあるので、
様々な視点でねらいを設定して、総合的な成長を目指した活動となるように工夫しています。

健康・生活



ねらい

- (a) 健康状態の維持・改善
- (b) 生活習慣や生活リズムの形成
- (c) 基本的生活スキルの獲得
- (d) 生活におけるマネジメントスキルの育成



一人ひとりの特性に配慮し、時間や空間を分かりやすく整理した環境の中で、心と体の健やかな成長をサポートします。お子さまが安心して過ごせるよう工夫しながら、健康で安全な生活を自分で作り出せる力を育んでいきます。健康な生活の基本となる食事の楽しさを感じられるような活動も取り入れています。また、身体的・精神的・社会的なトレーニングを行い、成長を支えていきます。

子ども自身が「何をするか」を考え、自分の生活をうまく管理できるように支援します。子どもたちの気持ちを尊重しながら、自分で考え、行動できる力を少しずつ伸ばしていけるよう、温かく見守っていきます。

健康・生活 活動例



- ☆検温、手洗いうがいの指導
- ☆身だしなみの整え方
- ☆自分用のスケジュール作り
- ☆クッキング

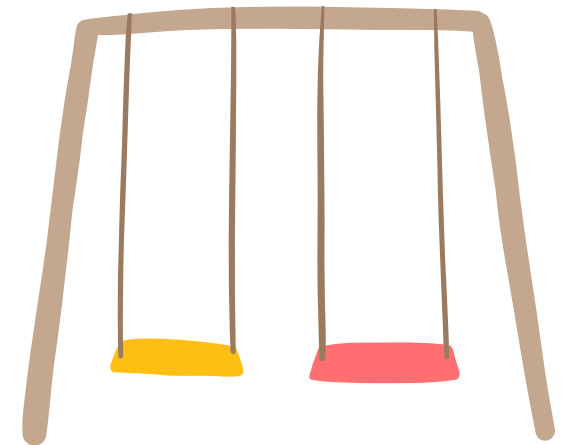
- ☆アレルギー、食中毒について（DVD視聴学習も含む）
- ☆衣服の着脱をする機会がある活動（プールなど）
- ☆生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）
- ☆SSTなどによる身体的、精神的、社会的訓練

運動・感覚



ねらい

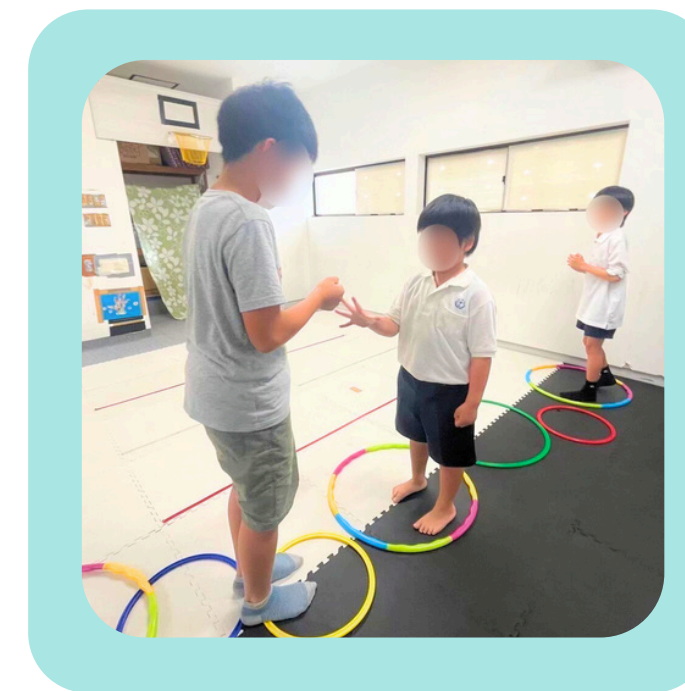
- (a) 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- (b) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
- (c) 身体の移動能力の向上
- (d) 保有する感覚の活用
- (e) 感覚の補助 及び代行手段の活用
- (f) 感覚の特性への対応



日常生活で必要な動作を身につけられるよう、姿勢の維持や運動能力の向上、筋力の強化をサポートします。姿勢保持や動作が難しい場合は、補助用具を活用しながら無理なくできる方法を一緒に考えていきます。また、自力での移動だけでなく、外出時の移動や公共交通機関の利用など、社会での移動手段を広げる支援も行います。さらに、視覚・聴覚・触覚などの感覚を活かしながら成長できるよう、遊びを通じたサポートを大切にしています。

子どもたち一人ひとりの特性に合わせた環境調整や補助機器の活用も提案しながら、快適に過ごせるよう支援してまいります。

運動・感覚 活動例



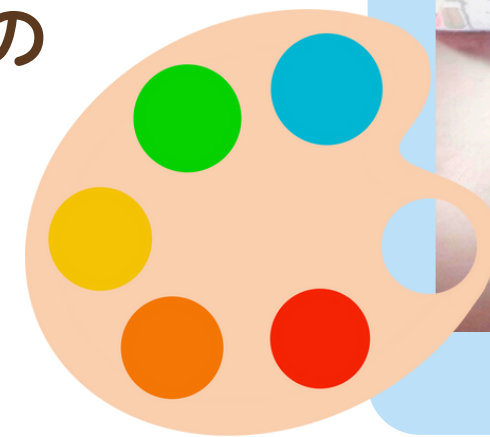
- ☆ボディイメージ
- ☆体操、体幹トレーニング
- ☆ビジョントレーニング
- ☆自分の感覚の特性（過敏や鈍麻）を知っていく活動、補助機器使用の提案や環境の調整
- ☆視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動（香り当てクイズ、何の音？ など）
- ☆運動遊び（ボール遊び、フラフープじゃんけんなど）
- ☆指先トレーニング（糸通し、お箸で〇〇つまみ練習 など）
- ☆つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供

認知・行動



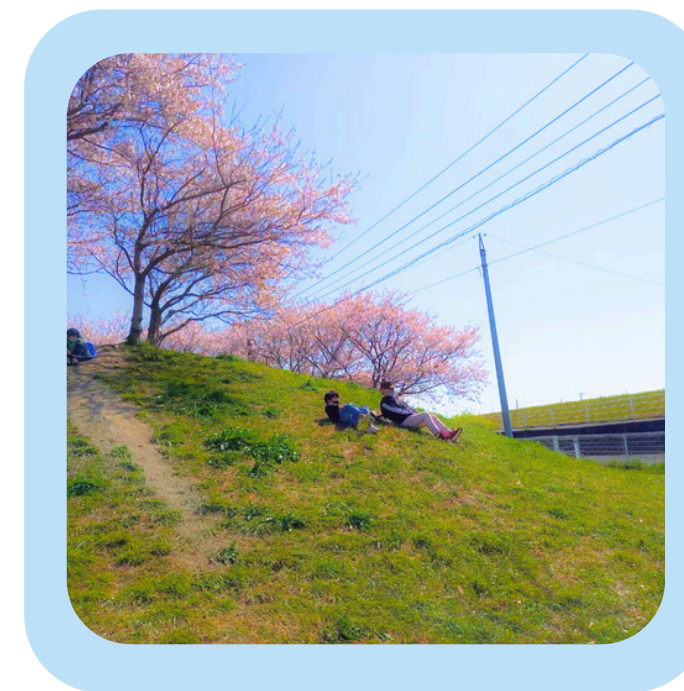
ねらい

- (a) 認知の特性についての理解と対応
- (b) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
(感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への
認知過程の発達、認知や行動の手掛かりとなる
概念の形成)
- (c) 行動障害への予防及び対応



まわりの状況を理解し、考え、記憶する力を育むために、形・色・音・数・時間などの概念を、遊びや活動を通して楽しく学べるよう支援します。また、これらを日常生活の中で活かし、適切な判断や行動ができるようサポートします。一人ひとりの認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるよう環境を整えることも大切にしています。例えば、視覚的な手がかりを増やしたり、分かりやすい言葉や具体的な体験を通して学べるよう工夫したりします。また、感覚の偏りや認知の特性、コミュニケーションの難しさから生じる困りごとにも寄り添い、行動の安定につながる支援を行います。子どもたちが安心して学び成長できるよう、環境づくりを大切にします。

認知・行動 活動例



☆マッチング

☆色分け、仕分けゲーム

☆ビジョントレーニング

☆クアドロカラー

☆粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成

☆『言うこといっしょ、やること逆』

☆工作、造形表現、スケッチなど

☆季節を感じる活動

☆ブロック遊びによる空間把握の認知形成

言語・コミュニケーション

ねらい

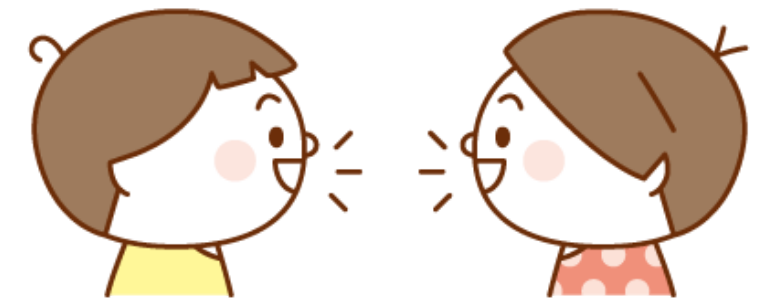
- (a) コミュニケーションの基礎的能力の向上
- (b) 言語の受容と表出
- (c) 言語の形成と活用
- (d) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- (e) コミュニケーション手段の選択と活用
- (f) 状況に応じたコミュニケーション
- (g) 読み書き能力の向上



自分の気持ちを伝え、相手の意図を理解できるよう、言葉だけでなく、表情や身振り、指差し、サイン、ICT機器などを活用したコミュニケーションの支援を行います。また、人との関わりの中で適切な言葉の使い方を学び、相手の気持ちをくみ取る力を育てます。一人ひとりの特性に合わせて、手話・点字・音声・文字などの手段も取り入れ、スムーズなやりとりをサポートします。

さらに、読み書きの力を伸ばし、場面や相手に応じた適切なコミュニケーションができるよう支援してまいります。安心して表現し、人との関わりを楽しめるよう、丁寧にサポートしていきます。

言語・コミュニケーション 活動例



- ☆ことばあそび（しりとり、3ヒントクイズ、伝言ゲーム、連想ゲーム、お話リレー など）
- ☆自己紹介、他己紹介
- ☆皆の前で意見発表
- ☆読み聞かせ
- ☆文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用
- ☆スイカ割り（言葉で誘導する）
- ☆活動の立案、実践（高学年を中心に）
- ☆電話対応の練習

人間関係・社会性

ねらい

- (a) アタッチメント（愛着）の形成と安定
- (b) 情緒の安定
- (c) 他者との関わり（人間関係）の形成
- (d) 遊びを通じた社会性の発達
- (e) 自己の理解と行動の調整
- (f) 仲間づくりと集団への参加

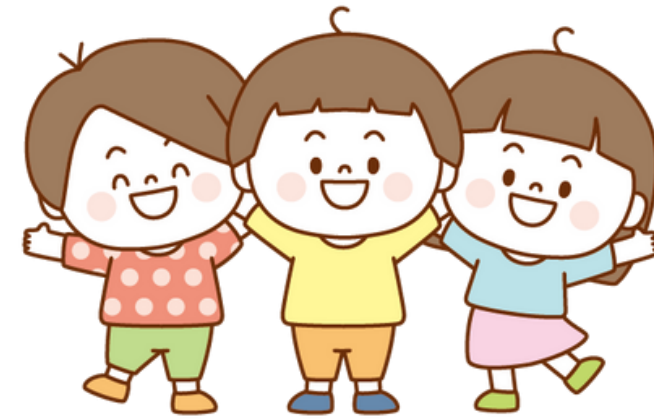


環境や周囲の人への信頼感を育て、気持ちが不安定になった際には、大人が寄り添い、安心できるよう支援します。また、感情の変化に気づき、落ち着いて過ごせるようサポートします。

他者の気持ちを理解し、適切な関わりができるよう、遊びを通じて社会性を育みます。模倣遊びやごっこ遊び、一人遊びから協同遊びへと発展させ、徐々に対人関係の力を伸ばします。

さらに、自分の得意なことや苦手なことを理解し、気持ちをコントロールしながら行動できるよう支援します。集団のルールを学び、友達と楽しく活動しながら、仲間づくりができるようサポートしていきます。

人間関係・社会性 活動例



- ☆『こんな時どうするの?』（ソーシャルスキルトレーニング）
- ☆トランプやボードゲームなど、順番やルールを守りながら複数人と一緒に遊ぶ活動
- ☆地域施設への見学
- ☆交通ルールとマナーの学習
- ☆秘密基地づくり
- ☆ごっこ遊びや見立て遊び
- ☆イベントなどを通じた地域交流など

その他の支援（宿題等の学習支援・自発活動・生活スキル活動）



宿題をする習慣が身につくように声かけをしています。問題がわからない時は一緒に解決への手立てを探したり、本人の理解の仕方に合わせて補助したりしています。

また、自発活動では本人の自己選択・自己決定を尊重し、促します。少人数での活動に誘い、参加する機会を提供します。

休日利用の時は、クッキングや買い物訓練、余暇活動など、日常生活に大切なスキルを身につける活動を取り入れています。

家族支援

『はなまるスタッフの思い』でも載せていたように、子どもたちの元気の源はご家族の皆さんです。ご家族の皆さんが安心して子育てができる環境をサポートするため、レスパイトケア目的のご利用の他に、以下の支援を実施しています。



①相談援助等の支援

送迎時や、その他必要に応じて利用者宅を訪問し、利用者及び家族やきょうだい等に対する相談援助等の支援を行います。

②保護者同士の交流

保護者交流の場『はなまるカフェ』を開催し、利用者にとってより良い療育や情報交換などを旨とするために、他利用者家族を交えた従業者による相談援助の機会を設けます。

③支援場面への参加

保護者に支援場面の観察や参加等の機会を提供し、子どもの特性や、特性を踏まえた子どもへの関わり方等に関して相談援助等を行います。

地域支援・連携

子どもたちに関わる学校や子育て支援機関、福祉機関、医療機関、行政、卒園した施設などの関係機関で役割分担を行いながら、それぞれで得られた情報を共有して、支援の具体策を提案していきます。また、地域還元できるように、相談窓口や、災害時の一つの居場所としての活動を行います。



移行支援

保育所等への具体的な移行だけでなく、ライフステージの切り替えを見据えた取組みや、地域とつながりながら日常生活を送るための取組み（地域の保育所等や子育て支援サークル、児童館、地域住民との交流）等も行っています。移行に関わる支援会議の開催、地域行事への参加、ボランティアさんのお宅への訪問などを実施しています。



職員の資質向上に資する取り組み

子どもたちに寄り添った支援を目指し、毎月の職員会議だけでなく研修や講習を受ける機会を設けています。また、いただいたご意見を共有し、支援や取り組みに反映できるように心がけています。職員同士での悩みや相談を共有し、より良い環境の中で支援ができるようにします。



救急救命講習



不審者対応講習

その他の取り組み

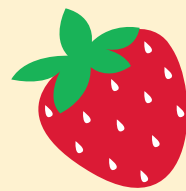
- ・オンライン研修や現地研修への参加
- ・放課後等デイサービス連絡会への参加
- ・事例検討会への参加
- ・ヒヤリハットの共有と環境構成の見直し

主な行事

はなまるの年間行事の一部を紹介します。
日々の活動だけでなく、季節のイベントやおでかけなどの行事もあります。色々な経験ができるように、子どもたちの意見や提案を取り入れた内容となっていますので、お楽しみに...♪

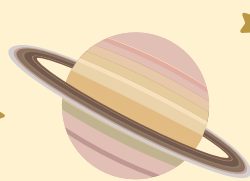
4月

お花見、いちご狩り
避難訓練（置き去り防止）



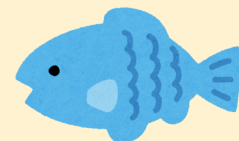
5月

宇宙科学館へ行こう
野菜の収穫体験



6月

水害についての学習
川遊び、干潟体験



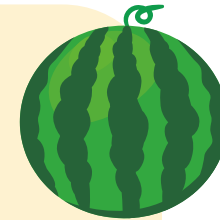
7月

七夕お茶会、プール遊び
はなまる夏まつり



8月

工場見学、買い物訓練
スイカわり会



9月

クッキング、室内プール
避難訓練（火災）



10月

クラフト体験（北山）
ハロウィンパーティー



11月

大牟田市動物園へ行こう
体育館で運動あそび



12月

地域のクリスマス会に参加
はなまるクリスマス会



1月

初詣、雪遊び
避難訓練（不審者）



2月

豆まき会、おやつづくり
外食体験、遠くへおでかけ



3月

ひなまつりお茶会
避難訓練（地震）



さいごに。。。

『みんなちがって、みんないい』という言葉のように、子どもたちはこれから生きていくなかで色々な人と出会い、嬉しいことも悲しいことも味わっていきます。

何か迷ったときに、「そういえば、はなまるでこんなことあったなあ...」と思い出して、自分で選んだり決めたりするきっかけになれるような経験をたくさんできたらいいなと思っています。
心に蒔いた種が、いつか大きく花開きますように...

